

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	平成国際大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	埼玉
大学全体の総収容定員	1,200 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	法学部法学科、スポーツ健康学部スポーツ健康学科			
事業計画名	平成国際大学情報連携学部設置計画			

2. 事業概要

新学部学科では、数理・データサイエンス・AIの知識・技能を養成し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する。 そのために、カリキュラムにおいてインターンシップを重視し、現場体験を通じた能力向上を図る。また、単なる就業体験を超えて産業界の課題を学生自身が発見できるよう、経験豊富な専任教員による指導によるサポートを適切に科目を配置していくことで実現していく。とくに連携する企業の協力を得て、最新の技術について学べるよう環境を整えていく。また、重点分野は「農業・環境」、「食と健康・スポーツ」、「経営・マーケティング」、「AIと社会実装」とし、高学年次のPBL(Project Based Learning)を通して地域の課題から国際的な課題まで多様な問題群を設定して実践的教育にあたる。学生の自由な発想を重視しつつ、デジタル技術やデータサイエンスを駆使して解決策を模索する教育を展開する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	情報連携学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	埼玉県加須市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	100 名					

事業計画名 平成国際大学 情報連携学部設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	情報連携学部	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	埼玉県加須市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	100名

- <社会や地域のニーズ・課題>
- ◆ 少子高齢化のなか人材不足の解消が喫緊の課題となっている。開設する情報連携学部では数理・データサイエンス・AIの知識・技能を養成し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する
 - ◆ 地元埼玉県の農業振興や高齢者の健康支援といった地域の課題、自然環境保護や食糧問題、そして進みつつあるアジアの高齢化への対応といった国際社会の課題にフォーカスしGX(グリーン・トランスフォーメーション)をも視野に入れた教育を実践する

- <連携を通じた教育体制の整備>
- ◆ 多様な企業との連携を図るなかでインターンシップを充実させるとともに、産業社会が抱えるさまざまな課題に関して学生の認識を深める。情報技術関連の授業で得たスキルをさらに磨き、実社会の技術にふれさせるインターンシップ制度の構築
 - ◆ これら企業をはじめとする連携企業には非常勤講師として授業を担当する社員の派遣を依頼
 - ◆ 連携企業とは「フォーラム」を構築し、インターンシップのコンテンツを検討するほか、カリキュラム全体について意見交換できる体制を整える
 - ◆ 学術交流協定等を締結している台湾の諸大学との関係を維持強化し、中国、東南アジアを中心とした大学との協力関係を構築

- <教育内容・育成する人材像>
- 数理・データサイエンス・AIの知識・技能を活用し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する。
- ◆ 数学・統計学を含む工学および自然科学の基礎を学修するとともに、経済社会の基礎を構成する社会科学や異文化理解につながる人文科学の基礎を学修
 - ◆ 学生の志向するキャリアの方向性にあわせて、農林水産業や環境関連産業を中心とする幅広い選択分野からなるインターンシップ制度を導入
 - ◆ 最終年次には学生を各研究室に配属し、少人数の研究活動を通じて専門性の高い人材育成
 - ◆ 希望する学生には中長期の海外交換留学の機会を設け、国際理解を促進させる

- <多様な入学者の確保>
- 入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定⇒多様な学生確保
- ◆ アドミッション・ポリシーに基づき教科・科目を設定
 - ◆ 面接試験の実施、調査書の記載事項を評価、また資格試験の取得を評価
 - ◆ 「総合型選抜」における女子枠の設定。また、女子高校に指定校推薦枠を設定し優秀な女子学生の確保
 - ◆ 系列高等学校や高大連携協定高校での模擬授業を実施し、生徒の本学部への興味関心を醸成
 - ◆ 外国人留学生・社会経験を有する者の積極的な受け入れ

- <設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>
- 情報連携学部では、数理・データサイエンス・AIの知識・技能を養成し、DXを通じて地域社会・企業等が直面する課題を実践的に解決できる人材を育成する。
- そのために、カリキュラムにおいてインターンシップを重視し、現場体験を通じた能力向上を図る。また、単なる就業体験を超えて産業界の課題を学生自身が発見できるよう、経験豊富な基幹教員による指導・サポートを適切に科目を配置していくことで実現していく。特に連携する企業の協力を得て、最新の技術について学べるよう環境を整えていく。また、重点分野は「農業・環境」、「食と健康・スポーツ」、「経営・マーケティング」、「AIの社会実装」とし、高学年次のPBL(Project Based Learning)を通して地域の課題から国際的な課題まで多様な問題群を設定して実践的教育にあたる。学生の自由な発想を重視しつつ、デジタル技術やデータサイエンスを駆使して解決策を模索する教育を展開する。

